

「水の東西」テスト問題

【一】本文について、後の問に答えよ。

問一 傍線部①「なんとなく人生のけだるさのようなものを感じる」とあるが、「鹿おどし」を見てどのように感じるのはどうしてか。

問二 傍線部②「単純な、緩やかなリズム」の比喻表現は「鹿おどし」のどういう印象をたとえたのか。本文から二字の漢字で抜き出さない。

問三 筆者は傍線部③「単純な、緩やかなリズム」の「リズム」は何を際立たせると考えているか。本文中から十字で抜き出さない。

問四 傍線部④「何事も起こらない徒労がまた一から始められる」のような「鹿おどし」の様子から筆者はどのようなものを感じているか。本文中から十三字で抜き出さない。

問五 傍線部⑤「曇った音響が時を刻んで、庭の静寂と時間の長さをいやがうえにも引き立てる」がなぜ時を刻み、庭の静寂と時間の長さを引き立てるというのか。

問六 傍線部⑥「それをせき止め、刻むことによって」について、「それ」が指す内容を本文から五字で抜き出さない。

問七 傍線部⑦「この仕掛けはかえって流れてやまないものの存在を強調していると言える」について、「鹿おどし」がなぜ「流れてやまないものの存在を強調」すると言えるのか。

問八 傍線部⑧「華やかな噴水」とあるが、「華やかな」はどの語と対比的に用いられた表現か。本文中から三字で抜き出さない。

問九 問題削除

問十 問題削除

問十一 傍線部⑩「音を立てて空間に静止している」について、次の問いに答えよ。

(1) このことばは同一の内容の表現を本文中から抜き出さない。

(2) なぜ「静止している」と言ったのか。わかりやすく説明しなさい。

問十二 傍線部⑫「そういう外面的な事情」とあるが、西洋で噴水が発達した理由を本文から三十五字以内で二つ抜き出さない。